

1 科目の概要

学年・年次	教 科	科 目	選 択	区 分	単位数
1 学年	国語	現代の国語		必修・必修・選択	2
科目の 目 標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ①知識及び技能 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ②思考、判断、表現 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ③主体的に学習に取り組む態度 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
教科書 (出版社)	・新編 現代の国語（大修館）	副教材 (出版社)	・セレクト漢字検定5級～2級 確認と演習 三訂新版（桐原書店）		
留意点				開 講 予定人数	

2 評価

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけようとしている。
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めようとしている。
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

(2) 評価方法

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法			
定期考査・小テスト	◎	◎	
ワークシート		◎	○
学習観察			◎

3 履修上および学習上の注意

・読書をこころがけ、積極的に文学作品に触れるようにしてください。

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
4	オリエンテーション （使用教材、成績の付き方） （Chromebook の使い方）	1	
	○話し方・聞き方の基本 「伝わるように話そう」 「聞きとりのレッスン」	話聞 4	【知】相手に伝わる話し方や聞き方の基本を理解している。 【主】ノートやメモをとるなどして、理解しようとしている。
5	○自分の考えを深めながら話合う 「『変わる』ことを楽しもう」 「コミュニケーションは技術だ」 考えを深めるために話合う	話聞 5	【知】相手に理解してもらったり、自分が理解したりするためにはどのような工夫をして話し合い活動をすればよいか理解している。 【思】相手に理解してもらうための表現の工夫をこらし、相手の意見を聞き、自分の考えを深めることができている。 【主】個人活動を元にしてグループ活動に参加している。
	○物事をわかりやすく説明する 「絵や写真を説明しよう」 「料理レシピを書こう」	書 2	【知】わかりやすい説明に必要な書き方を理解している。 【主】ノートやメモをとるなどして、理解しようとしている。
6	説明の基礎を理解する		
	○論理的に説明する① 「オカビの胃袋はいくつか」 具体例を提示して意見文を書く	書 7	【知】具体例を使った根拠の示し方を理解している。 【思】意見文を書くときに、効果的な具体例を示しながら書いている。 【主】積極的に意見文を書いている。
7			
	○論理的に説明する② 「水の東西」 対比を根拠に意見文を書く	書 7	【知】対比を使った根拠の示し方を理解している。 【思】意見文を書くときに、効果的な対比表現を使用して書いている。 【主】積極的に意見文を書いている。
8			
9	○筆者の主張と根拠をとらえる 「生きることと食べることの意味」	読 6	【知】筆者の主張や根拠の見つけ方を理解している。 【思】「生きることと食べることの意味」論旨と要点をとらえている。 【主】積極的に論旨と要点をとらえる活動をしている。
10	【前期期末考査】	1	
	○討論をしてみよう 「羅生門」※教科書外作品 下人の善悪について討論	話聞 10	【知】討論の仕方を理解している。 【思】相手の反応を予測しつつ、自分の考えが的確に伝わるように話している。 【主】相手の反応を予想しながら討論に参加している。
11			
12	○効果的な言葉を使おう 「本のポップを作ろう」 ※推敲の仕方を押さえよう	書 6	【思】相手に意図した効果を与えることができる言葉遣いしている。 【主】ポップ作成に積極的に取り組んでいる。
1			
2	○文章の要点を的確に捉える 「何のために働くのか」 要約を通して	読 6	【知】構成を元に論旨や要点をとらえている。 【思】「何のために働くのか」の構成をとらえ、論旨や要点をとらえている。 【主】積極的に要約活動に取り組んでいる。
3	○相手にわかりやすい伝え方について考える 「レポートを書こう」 自分が将来就きたい職業の情報	書 8	【知】図的な情報の効果を理解している。 【思】文章と図を組み合わせ、相手を意識したわかりやすいレポートを作成している。 【主】積極的にレポート作成に取り組んでいる。
	【後期期末考査】	1	
	○必要な情報を聞きだそう 印象に残るスピーチをしよう 「他己紹介」	話聞 6	【知】相手の情報を聞き出す方法を理解する。聴き手が聞きやすい話し方を理解している。 【思】効果的な情報収集、スピーチの仕方について理解を深めている。 【主】積極的に情報収集をしている。効果的なスピーチをしようとしている。

1 科目の概要

学年・年次	教科	科目	選択	区分	単位数
1 学年	国語	言語文化	-	必修・必修・選択	2
科目の 目 標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ①知識及び技能 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ②思考、判断、表現 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ③主体的に学習に取り組む態度 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
教科書 (出版社)	新編 言語文化 (大修館)	副教材 (出版社)			
留意点				開 講 予定人数	

2 評価

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。
思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。

(2) 評価方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法			
定期考査・小テスト	◎	◎	
グループ活動・発表		◎	◎
学習観察			◎

3 履修上および学習上の注意

読書をこころがけ、積極的に文学作品に触れるようにしてください。

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
4	オリエンテーション （使用教材、成績の付き方） （Chromebook の使い方）	1	
5	○登場人物の心情変化を理解する 「水かまきり」 「とんかつ」※場合により省略	近 5	【知】 心情理解の上でどのような描写に注目すればよいか理解している。 【思】 書く登場人物の心情を想像し、変化をとらえている。 【主】 言語活動を通して登場人物の心境や変化を理解しようとしている。
6	○古文のリズムを感じる 古文の基礎【仮名遣、品詞、活用】 「いろはうた」「古文冒頭選」 「児のそら寝」	古 5	【知】 歴史的仮名遣、品詞、活用を身につけている。 【思】 現代文を読んだときとの印象の違いを考えることができる。 【主】 ワークシート等で繰り返し練習して、古文の基礎知識を定着させようとし、独特のリズムを楽しもうとしている。
7	○漢文の基礎 【構造、訓読のきまり、書下】 「訓読のきまり」「格言」 「守株」（余裕があれば「蛇足」）	漢 6	【知】 漢文の構造を理解し、訓読のきまりを身につけている。 【思】 文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉えている。 【主】 ワークシート等を繰り返し練習して、漢文の構造を理解し、訓読のきまりを定着させようとしている。
8	○自分がよいと思うものを紹介 「枕草子」春はあけぼの 「季節のことばと出会う」 自分の好きなものを紹介する文章を書いてみよう	書 8	【知】 随筆というジャンルの特徴を理解している。 【思】 自分の好きなものをどう表現すればより相手に同じ印象を持ってもらえるか工夫を凝らしている。 【主】 より自分の好きなもののよいところが伝わる文章をつくろうとしている。
9	○近代文学に触れる 「夢十夜」第一夜	近 5	【知】 夏目漱石に関する知識を身につけている。 【思】 「夢十夜」の特徴について考え、その効果の理解を深めている。 【主】 言語活動を通して作品の特徴の理解やその効果について意見交換をしている。
10	【前期期末考査】	1	
11	○古文と近代の比較① 「羅生門」 「今昔物語集巻第二九第一八」	古 9	【知】 古文と近代の文章で共通している部分を理解している。 【思】 現代の文章の特徴をとらえ、その効果について理解を深めている。 【主】 ワークシート等で二つの文章の違いを考え、特徴を捉えようとしている。
12	○故事成語に親しむ 「借虎威」 （余裕があれば「五十歩百歩」）	漢 6	【知】 故事成語の意味を理解している。 【思】 故事成語の成り立ちについて考えることができる。 【主】 「借虎威」の成り立ちを理解しようとしている。
1	○詩歌から筆者の思いを想像する 「詩歌の調べ」	古 6	【知】 詩歌の表現技法を理解している。 【思】 詩歌から筆者のどんな感性が表れているか考えている。 【主】 グループ活動を通して筆者の感性について話し合っている。
2	○日本の文化の特徴を考える 「足し算の文化」	近 5	【知】 評論文の特徴を理解している。 【思】 日本の文化の特徴を本文中からまとめることができる。 【主】 言語活動を通して筆者の意見の理解を深めようとしている。
3	○古典の物語を楽しむ 「伊勢物語」芥川	古 5	【知】 伊勢物語に関する基礎知識について理解している。 【思】 古文の恋愛観について理解を深めている。 【主】 言語活動を通して藤原業平の気持ちを理解しようとしている。
4	○自分の好きなジャンル探し 「一瞬の風になれ」	近 5	【知】 我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思】 自分の好きなジャンルや作品について理解を深めている。 【主】 自分の好きなジャンルや作品について理解を深めようとしている。
5	【学年末考査】	1	
6	○ポップを作ってみよう 前単元で考えたジャンルを元に、一冊のお気に入りのポップを作成	書 2	【知】 自分の思いが効果的に伝わるよう、文章の構成や、文体、描写、語句などの表現のしかたを工夫している。 【思】 自分の好きな小説をどうすれば効率よく人に伝えることができるか考えることができる。 【主】 自分なりの工夫を凝らしながらポップを作ろうとしている。

1 科目の概要

学年・年次	教 科	科 目	選 択	区 分	単位数
1 学年	公民	公共	-	必履修・必修・選択	2
科目の 目 標	①知識及び技能 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ②思考、判断、表現 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 ③主体的に学習に取り組む態度 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。				
教科書 (出版社)	・公共 これからの社会について考える (数研出版)	副教材 (出版社)			
留意点				開 講 予定人数	

2 評価の方法

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
知識・技能	現代の諸課題を捉え概念や理論について理解しているとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を他季節かつ効果的に調べまとめている。
思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて事実を元に多面的・多角的に考察・判断・議論したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	国家及び社会の形成者としてよりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

(2) 評価方法

観点 評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
定期考査・小テスト	◎	○	
ワークシート	○	◎	○
学習観察		○	◎

3 履修上および学習上の注意

・「公共」は倫理、政治、経済、国際社会に分けられており、2～3年次の選択科目である「倫理」「政治・経済」の基礎となる科目です。 ・「18歳で成人」となる皆さんは、高校生になったのをきっかけに、世の中の動きをニュースなどで把握したり、各国の文化や考え方の違いを理解し、社会の一員となる準備をしましょう。
--

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
4	第1章 公共的な空間をつくる 私たち 第1節 青年期と自己形成 第2節 人間としての自覚 第3節 日本人としての自覚	7	【知】 青年期の意義、思想や三大宗教の内容が理解できている。 【思】 自己形成の課題について考察できている。思想や宗教、文化や伝統が自分自身の生き方に与えている影響に気付くことができている。 【主】 社会の一員としての自覚を深め、自己実現がめざせている。先哲の思想や生き方、日本の伝統思想や文化、外来思想から自分自身の生き方を検証し、主体的に追究できている。
5	第2章 公共的な空間における 人間としてのあり方生き方 第1節 西洋近現代の思想 第2節 現代の諸課題と倫理	9	【知】 近世・近現代の思想内容、地球環境問題や資源・エネルギー問題、生命科学や情報技術の進展などの事象について理解できている。 【思】 先人の生き方を通して、公共的な空間における人間としての在り方生き方を考察するための選択・判断の手掛かりが考察できている。 【主】 選択・判断の手掛かりとなる考え方をを使って、現代の諸課題を主体的に追究できている。
6	第3章 公共的な空間における 基本原理 第1節 民主社会の基本原理 第2節 日本社会の基本原理	7	【知】 法などの社会規範の役割、民主政治のあり方、日本国憲法の三大原理の内容、日本国憲法で保障されている権利が理解できている。 【思】 民主政治における国家と個人のあり方、日本国憲法における権利の保障と、他者の権利や公共の利益との調和について考察できている。日本の平和主義のあり方の変化について考察できている。 【主】 民主政治が自らの生活とかわっていることを理解し、社会に主体的に生きる人間のあり方生き方について思索を深められている。
7	第4章 現代の民主政治と 政治参加の意義 第1節 日本の政治機構	8	【知】 三権相互の関係と役割、行政機能が拡大している現状、選挙のしくみ、政党の役割、地方自治の現状と課題が理解できている。 【思】 行政機能拡大の是非、日本政治の課題と今後の見通し、地方自治の現状と身近な地域で行われている事例について考察できている。
8	第2節 民主参加と民主政治の 課題		【主】 裁判員制度の意義をふまえ積極的に参画する自覚を持つことができている。身近に自らが参加できる機会を発見し、主権者として参加しようという意欲を持つことができている。
9	【前期期末考査】	1	
	第5章 現代の経済社会と 経済活動のあり方 第1節 経済のしくみと市場機構	18	【知】 企業や政府の役割、市場メカニズム、各種経済指標、金融・財政のしくみ、戦後日本経済のあり方が理解できている。産業構造の変化と職業選択との関係や、中小企業や農業の果たしている役割と現状、契約の原則、労働問題や社会保障について理解できている。
10	第2節 財政と金融		【思】 現代の資本主義経済と市場メカニズム、GDPと豊かさとのつながり、景気の先行きと経済の動向について考察・判断できている。労働問題や社会保障について課題を発見し、解決の方法を考察できている。
11	第3節 日本経済の発展と変化 第4節 豊かな生活と福祉の実現		【主】 経済社会に主体的に生きる一員として、新聞などで情報を集め、現状と今後の日本経済について見通しがたてられている。労働問題や社会保障の課題について主体的に追究できている。
12	第6章 国際社会の動向と 日本の役割 第1節 国際政治の動向 第2節 国際政治の課題と日本の 役割	14	【知】 国際法の意義や国際紛争を解決する機関の役割、戦後の国際政治の流れ、国際社会における日本の役割、核軍縮への流れ、世界の紛争や人権問題について理解できている。貿易や外国為替相場のしくみ、戦後の国際経済の流れ、地域経済統合が進む世界の現状が理解できている。 【思】 国連など国際機関の現状と課題、国際社会の諸問題について考察・判断できている。貿易や為替相場の変動、地域経済統合が経済にどのような影響を与えるのか考察できている。
	第3節 国際経済の動向と国際 協力		【主】 国際政治や国際経済の課題、平和と安全を維持するため何が有効なのか、グローバル化した国際経済について主体的に追究できている。持続可能な社会のあり方について主体的に追究できている。
	【後期期末考査】	1	
3	持続可能な社会づくりの主体となる 私たち	5	

1 科目の概要

学年・年次	教 科	科 目	選 択	区 分	単位数
1 年次	数 学	数学 I	-	必修・必修・選択	3
科目の 目 標	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。				
教科書 (出版社)	最新 数学 I (数研出版)	副教材 (出版社)	書き込み式シリーズ [基本～標準] 教科書傍用 パラレルノート数学 I (数研出版)		
留意点	特になし			開 講 予定人数	必修のため全員

2 評価

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
知識・技能	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。
思考・判断・表現	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的に見たり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

(2) 評価方法

観 点 評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
定期考査・単元テスト 小テスト	◎	◎	
ワークシート 授業中の発言・発表	○	◎	○
授業への取組姿勢 週末課題 長期休業中の課題	○	○	◎

3 履修上および学習上の注意

・「新課程 書き込み式シリーズ [基本～標準] 教科書傍用パラレルノート数学 I」を、授業や家庭学習で活用する。
--

4 年間指導計画（評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
4	第1章 数と式	18	【知】数の体系を実数まで拡張する意味を理解したり、数の概念に対する理解を深めることができる。 【思】式を、目的に応じて一つの文字に着目して整理したり、一つの文字に置き換えたりするなど、複雑な式を簡単な式に帰着させ、式の見方を豊かにすることができる。 【主】粘り強く考え、数学的論拠に基づき判断しようとしている。
5			
	第2章 集合と命題		【知】集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に使うことができる。 【思】事象を論理的に表現する際の基礎となる知識や技能を身に付けた上で、色々な事象や数学の概念を多面的に見たり統合的に見たりすることができる。 【主】粘り強く考え、数学的論拠に基づき判断しようとしている。
6			
	【前期中間考査】	1	
	第3章 2次関数	24	【知】関数の概念の理解を深め、関数を用いて数量の変化を表現することの有用性を認識することができる。 【思】2次関数の値の変化を考察することを通じて、関数の最大値・最小値や2次不等式の解を求めることができる。 【主】粘り強く考え、数学的論拠に基づき判断しようとしている。
7			
8			
	【前期期末考査】	1	
9	第3章 2次関数	12	
10	第4章 図形と計量	20	【知】鋭角での三角比の意味と相互関係について理解したり、鈍角まで拡張する意味と鋭角との関係を理解したりすることができる。 【思】三角比や正弦定理、余弦定理を用いて、平面図形や簡単な空間図形の計量に活用することができる。 【主】粘り強く考え、数学的論拠に基づき判断しようとしている。
11			
	【後期中間考査】	1	
12	第4章 図形と計量	13	
	第5章 データの分析	8	【知】目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択し分析を行い、データの傾向や特徴を理解することができる。 【思】主張の妥当性について、実験などを通して得たデータを整理して判断したり、批判的に考察したりすることができる。 【主】粘り強く考え、数学的論拠に基づき判断しようとしている。
1			
2			
	【後期期末考査】	1	
3	第5章 データの分析	6	

1 科目の概要

学年・年次	教 科	科 目	選 択	区 分	単位数
1 学年	理科	科学と人間生活	-	必履修	2
科目の 目 標	知識及び技能 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する技能を身につけるようにする。 思考、判断、表現 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。 主体的に学習に取り組む態度 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。				
教科書 (出版社)	科学と人間生活（実教出版）	副教材 (出版社)	アクセスノート 科学と人間生活（実教出版）		
留意点				開 講 予定人数	

2 評価

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
知識・技能	自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する技能を身につけられたか。
思考・判断・表現	観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養えたか。
主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高めたか。

(2) 評価方法

観点 評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
定期考査・小テスト	◎	○	○
ワークシート	◎	○	○
学習観察	○	○	◎

3 履修上および学習上の注意

理科4分野（物理・化学・生物・地学）すべてを学習します。

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
4	1章 科学と技術の発展	4	【知】科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解している。 【思】科学技術の発展と人間生活との関わりについて科学的に考察し表現している。 【主】科学技術の発展に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
5	2章 物質の科学 1節 材料とその再利用	5	【知】物質の科学について認識を深めているとともに、それらの観察実験などに関する技能を身につけている。 【思】物質の科学について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現している。 【主】物質の科学に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
6	【前期中間考査】	1	
7	3章 生命の科学 1節 生物と光	6	【知】生命の科学について認識を深めているとともに、それらの観察実験などに関する技能を身につけている。 【思】生命の科学について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現している。 【主】生命の科学に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
8	2節 微生物とその利用	6	
9	【前期期末考査】	1	
10	4章 光の性質とその利用 1節 光の性質とその利用	6	【知】光や熱の科学について認識を深めているとともに、それらの観察実験などに関する技能を身につけている。 【思】光や熱の科学について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現している。 【主】光や熱の科学に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
11	2節 熱の性質とその利用	8	
12	【後期中間考査】	1	
1	5章 宇宙や地球の科学 1節 身近な天体と太陽系における地球	7	【知】宇宙や地球の科学について認識を深めているとともに、それらの観察実験などに関する技能を身につけている。 【思】宇宙や地球の科学について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現している。 【主】宇宙や地球の科学に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
2	2節 身近な自然景観と自然災害	6	
	【後期期末考査】	1	
3	6章 これからの科学と人間生活	5	【知】これからの科学と人間生活との関わり方について認識を深めている。 【思】これからの科学と人間生活との関わり方について科学的に考察している。 【主】これからの科学と人間生活に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

1 科目の概要

学年・年次	教 科	科 目	選 択	区 分	単位数
1 学年	保健体育	体育		必修・必修・選択	3
科目の 目 標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質能力を育成する。				
教科書 (出版社)	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材 (出版社)			
留意点				開 講 予定人数	

2 評価の方法

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
知識・技能	運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、科学的な知識を基に運動に必要な技能を養う。
思考・判断・表現	各領域特有の特性や魅力に応じた課題を発見し、合理的計画的な課題解決の過程の中で思考し判断するとともに、自己や仲間の新たな課題を発見し、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、ルールやマナーを大切にし、仲間と協力し積極的に取り組む力を養う。また、他者を尊重し、自己の責任を果たし、主体的に取り組む力を養う。

(2) 評価方法

観 点 評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
実技テスト・ゲーム	○	○	○
ワークシート	○	○	○
学習観察		○	○

3 履修上および学習上の注意

- 各領域において安全面に留意し、自他共に怪我のないように心掛けること。 - 体育理論の授業において、保健の教科書を使用する。 - 運動が苦手でも一生懸命取り組み、自己の運動技能について探究し、課題解決に向けて考えること。技能テストのみで評価するのではなく、それらを総合的に評価する。
--

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点（抜粋）
4	オリエンテーション	12	「体づくり運動」 【知】体を動かす楽しさや心地よさを味わい体力向上を目指し取り組むことができる 【思】自己や仲間の課題を発見し、課題解決方法を共有し取り組もうとしている
5	2「体育理論」	3	【主】 一人一人の違いに応じて取り組み、健康安全を確保している 「体育理論」 【知】スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展について理解することができる 【思】スポーツの歴史的発展等について自己の考えを伝えようとしている
6	3「マット運動」 「陸上競技（走・投擲）」	12	【主】 課題発見のための意見交流など進んで取り組むことに留意している 「マット運動」 【知】基本的な技を滑らかに安定して行い、発展技及び構成し演技することができる 【思】技習得のために自他で課題を解決しようとしている 【主】 自主的に互いに教え合い、良い演技を讃え取り組んでいる 「陸上競技（走・投擲）」 【知】記録向上や競争の楽しさを味わい、各種目の技能を身に付けることができる 【思】動きなどの改善ポイントを発見し、自他で課題を解決しようとしている
7	4「バレーボール」 「マット運動」	12	【主】 ルール・マナーを大切にし、健康安全を確保している 「バレーボール」 【知】安定した用具の操作や連携した動きによって、空間をめぐる攻防をすることができる 【思】自己やチームの課題を発見し、互いに考えたことを伝えようとしている
8	5「陸上競技（走・投擲）」 「バレーボール」	12	【主】 フェアプレーを大切にし、互いに教え合い取り組んでいる 「領域選択」 【知】安定した用具・ボールの操作や連携した動きによって、空間をめぐる攻防、状況に応じた守備や打撃をすることができる 【思】自己やチームの課題を発見し、互いに考えたことを伝えようとしている
9	6領域選択 「ソフトボール・サッカー・ソフトテニス」	13	【主】 フェアプレーを大切にし、互いに教え合い取り組んでいる 「バスケットボール」 【知】安定したボール操作や連携した動きによって、空間をめぐる攻防をすることができる 【思】自己やチームの課題を発見し、互いに考えたことを伝えようとしている
10	7「バスケットボール」 「ダンス」	14	【主】 フェアプレーを大切にし、互いに教え合い取り組んでいる 「ダンス」 【知】イメージを捉え、簡単な作品にまとめて発表することができる 【思】表現の仕方などの課題を発見し、互いに考えたことを伝えようとしている
11	8「柔道」 「バスケットボール」	12	【主】 自主的に互いに教え合い、良い演技を讃え取り組んでいる 「柔道」 【知】相手の変化に応じて攻防を展開することができる 【思】動きなどの改善ポイントを発見し、自他で課題を解決しようとしている
12	9「スキー」	12	【主】 礼法を大切にし、相手を尊重し、健康安全を確保している 「スキー」 【知】ブルークからパラレルまで安定したスキー操作を実践することができる 【思】動きなどの改善ポイントを発見し、自他で課題を解決しようとしている
1	10「体育理論」	3	【主】 ルール・マナーを大切にし、健康安全を確保している

1 科目の概要

学年・年次	教 科	科 目	選 択	区 分	単位数
1 学年	保健体育	保健		必修・必修・選択	1
科目の 目 標	保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、その解決を図る主体的・協働的な学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯を通じて心身の健康を保持増進するための資質能力を育成する。				
教科書 (出版社)	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材 (出版社)			
留意点				開 講 予定人数	

2 評価の方法

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
知識・技能	個人だけでなく社会生活の健康・安全について、総合的に理解できるようにするとともにそれらの内容に関わる力を養う。
思考・判断・表現	健康に関わる事象や健康情報などから自他や社会の課題を発見し、より良い解決に向けて思考したり、様々な解決方法の中から適切な方法を選択するなど、判断したり、他者に表現することができる力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	自他の健康やそれを支える環境づくりに関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を養う。

(2) 評価方法

観 点 評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
定期考査・小テスト	○	○	
ワークシート	○	○	○
学習観察		○	○

3 履修上および学習上の注意

・ 1 単位科目のため欠課時数に留意すること。 ・ 授業で使用する教材は教科書のみであるため、教科担任から配布される教材の保管について留意すること。 ・ 教科書は 1、2 年次の保健のみならず、1～3 年次体育の「体育理論」時にも使用するため、紛失しないように管理すること。

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点（抜粋）
4	オリエンテーション		「健康の考え方」 【知】健康を保持増進するためには現代の健康課題や疾病構造の変化を把握し、自ら適切に管理することが必要であることを理解できる 【思】現代社会と健康における情報や事象について整理したり、自他や社会の課題を発見したりしている。 【主】自他の健康や環境づくりに関心を持ち、積極的に授業に参画している。
5	【現代社会と健康】 1 「健康の考え方と成り立ち」 2 「私たちの健康のすがた」 3 「生活習慣病の予防と回復」 4 「がんの原因と予防」 5 「がんの治療と回復」	6	「現代の感染症とその予防」 【知】感染症の予防には社会的対策を前提として個人的対策が必要であることを理解できる 【思】感染症の発生や流行の事例を通して整理し、感染症のリスク軽減のための取り組みや対策に応用している 【主】自他の健康や環境づくりに関心を持ち、積極的に授業に参画している。
6	6 「運動と健康」 7 「食事と健康」 8 「休養・睡眠と健康」	4	「生活習慣病などの予防と回復」 【知】生活習慣病の予防には定期的な検診はもとより基本的な正しい習慣が必要であることを理解できる 【思】自他の状況から分析し、リスク軽減や生活の質向上に必要な取り組みや対策について整理している 【主】自他の健康や環境づくりに関心を持ち、積極的に授業に参画している。
7			
8	9 「喫煙と健康」 10 「飲酒と健康」 11 「薬物乱用と健康」	4	「喫煙・飲酒・薬物乱用と健康」 【知】健康悪化防止をするためには健全な価値観や規範意識の向上、法的な規制等が必要であることを理解できる 【思】個人の働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして防止策を評価している 【主】自他の健康や環境づくりに関心を持ち、積極的に授業に参画している。
9	【前期期末考査】	1	
10	12 「精神疾患の特徴」 13 「精神疾患の予防」 14 「精神疾患からの回復」	4	「精神疾患の予防と回復」 【知】精神疾患の予防と回復には調和のとれた生活を実践することやストレスを緩和することが重要であることを理解できる 【思】不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している 【主】自他の健康や環境づくりに関心を持ち、積極的に授業に参画している。
11	15 「現代の感染症」 16 「感染症の予防」 17 「性感染症・エイズとその予防」	4	「安全な社会作り」 【知】自他の生命を尊重するとともに、車両の特性や適切な行動、環境整備等が必要であることを理解できる 【思】様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、危険を予測し回避するための取り組みを評価・考察している 【主】自他の健康や環境づくりに関心を持ち、積極的に授業に参画している。
12	18 「健康に関する意思決定・行動選択」 19 「健康に関する環境づくり」	2	
1	【安全な社会生活】 1 「事故の現状と発生要因」 2 「安全な社会の形成」 3 「交通における安全」	4	「応急手当」 【知】適切な応急手当は自他の生命を守ることや苦痛の軽減に繋がることを理解できる 【思】事故や災害で生じる傷害や疾患に関連付けて、実習等で悪化防止のための適切な方法に応用している 【主】自他の健康や環境づくりに関心を持ち、積極的に授業に参画している。
2	【後期期末考査】	1	
3	4 「応急手当の意義とその基本」 5 「日常的な応急手当」	3	
	6 「心肺蘇生法」	2	

1 科目の概要

学年・年次	教 科	科 目	選 択	区 分	単位数
1 学年	英語	英語コミュニケーションⅠ	-	必修・必修・選択	3
科目の 目 標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。具体的な活動・領域は以下の通り。 (1) 聞くこと ア 日常的及び社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することや概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 (2) 読むこと ア 日常的及び社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することや概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。 (3) 話すこと〔やり取り〕 ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。 (4) 話すこと〔発表〕 ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 (5) 書くこと ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。 イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。				
教科書 (出版社)	All Aboard! English CommunicationⅠ(東京書籍)	副教材 (出版社)	クラウン チャンクで英単語 Basic(三省堂) 高校英語へのステップ(東京書籍)		
留意点				開 講 予定人数	

2 評価

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
知識・技能	- 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 - 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的かつ自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

(2) 評価方法

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取 り 組 む 態 度
評価方法			
定期考査・小テスト リスニングテスト 等	◎	○	○
定期考査・ワークシート パフォーマンステスト 等	○	◎	○
学習観察・提出物 授業や課題への取り組み	○	○	◎

3 履修上および学習上の注意

・言語活動に取り組む態度を持ち、異国の文化を学んでください。

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
4	○オリエンテーション	1	（使用教材や授業の進め方）
	Warm-up 1 アルファベット	1	（知）アルファベットについて、その決まり事を理解している。また書くことができる技能を身につけている。
	Warm-up 2 教室で使う表現	3	（知）教室で使う表現について理解している。
	Warm-up 3 辞書の使い方		（思）教室で使う表現について適切に使っている。 （主）教室で使う表現について適切に使おうとしている。
	Communication 1	3	（知）辞書の使い方を理解している。
	英文のしくみ 1・Pre-Lesson 1	6	（知）自己紹介を英語でできる。 （思）自己紹介で表現力を見せる。 （主）相手が理解しやすいように自己紹介ができる。
5	Pre-Lesson 2	3	（知）自分のことを be 動詞を用いて表現できる。 （思）自分のことを相手が理解しやすく伝える。 （主）自分のことを相手に理解しやすく伝えようとしている。
	Lesson 1	3	（知）一般動詞を用いた文を理解している。 （思）一般動詞を用いた文で相手に情報を伝える。 （主）一般動詞を用いた文を相手に理解させようとしている。
6	【前期中間考査】 Lesson 2	1 7	（知）動詞の過去形の用法を理解している。 （思）好きな食べ物について、相手の意見、自分の考えを伝える。 （主）好きな食べ物について、自分の考えを伝えようとしている。
7	文法のまとめ 1 Let's Listen 1 Lesson 3	1 10	（知）進行形の文の用法を理解している。 （思）好きな動物について、考えを表現できる。 （主）好きな動物についての考えを表現しようとしている。
8	Communication 2 【前期期末考査】	3 1	
9	Lesson 4	8	（知）助動詞を用いた文の用法を理解している。 （思）相手の意見を聞き、自分の考えをまとめることができる。 （主）相手の意見を聞き、自分の考えをまとめようとしている。
	英文 Eメールの書き方 Extra Target 1 Lesson 5	3 9	（知）to 不定詞を用いた文の用法を理解している。 （思）行ってみたい所、行ってみたいことを表現できる。 （主）行ってみたい所、行ってみたいことを表現しようとしている。
10	Let's Listen 2 英文のしくみ 2・文法のまとめ 2	6	（知）動名詞を用いた文の用法を理解している。 （思）相手の意見を聞き、自分の考えをまとめることができる。 （主）相手の意見を聞き、自分の考えをまとめようとしている。
11	Reading 1 Extra Target 2 【後期中間考査】 Lesson 6	9 1 9	（知）受け身を用いた文の用法を理解している。 （思）相手の意見を聞き、自分の考えをまとめることができる。 （主）相手の意見を聞き、自分の考えをまとめようとしている。
12	Lesson 7	8	（知）比較級を用いた文の用法を理解している。 （思）相手の意見を聞き、自分の考えをまとめることができる。 （主）相手の意見を聞き、自分の考えをまとめようとしている。
1	【後期期末考査】	1	
2	Lesson 8	8	（知）現在完了形を用いた文の用法を理解している。 （思）相手の意見を聞き、自分の考えをまとめることができる。 （主）相手の意見を聞き、自分の考えをまとめようとしている。
3			

1 科目の概要

学年・年次	教 科	科 目	選 択	区 分	単位数
1 学年	商業	ビジネス基礎	-	必修・必修・選択	
科目の 目 標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す ① ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ② ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 ③ ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
教科書 (出版社)	ビジネス基礎 (実教出版)	副教材 (出版社)			
留意点				開 講 予定人数	

2 評価の方法

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
知識・技能	実際のビジネスに関する経済活動に基づき、ビジネスの様々な場面で役に立つ知識と技術を身に付けている。
思考・判断・表現	現代社会におけるビジネスに関する課題を発見するとともに、様々な事例を工夫してよりよく解決する力を養っている。
主体的に学習に取り組む態度	現代社会におけるビジネスに関する課題について学ぶ態度及び主体的に取り組む態度を養っている

(2) 評価方法

観点 評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
定期検査・小テスト	◎	◎	
ワークシート	○	○	◎
学習観察		○	◎

3 履修上および学習上の注意

- ・ビジネスに関する基礎的・基本的知識を習得させ、経済社会におけるビジネスの意義や役割について理解させるとともに、経済事象をビジネスの視野に立って考え、判断して行動する能力と態度を育てる。

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
4	第1章 商業の学習とビジネス	7	【知】商業を学ぶ重要性和学び方、ビジネスの概要について理解している。
	1. いざ、ビジネスの世界へ		【思】商業を学ぶこと及びビジネスの意義と課題について、経済社会の持続的な発展と関連について考えている。
	2. 私たちの社会とビジネス		【主】ビジネスの基礎的な事項について自ら学び、ビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。
5	第2章 ビジネスとコミュニケーション	9	【知】ビジネスにおける信頼関係構築について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
	1. コミュニケーション		【思】ビジネスの場面を分析し、ビジネスにおいて他者への対応について考えている。
	2. ビジネスマナー		【主】情報を入手して活用し、評価・改善している。ビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。
	3. 情報の入手と活用	1	【主】情報を入手して活用し、評価・改善している。ビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。
	【前期中間考査】	1	【主】情報を入手して活用し、評価・改善している。ビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。
6	第3章 経済と流通の基礎	12	【知】経済と流通について経済社会における事例と関連付けて理解している。
	1. 経済の仕組みとビジネス		【思】経済と流通に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。
	2. 経済活動と流通		【主】経済と流通について自ら学び、経済の基本概念を踏まえ、流通と流通を支える活動に組織の一員として主体的かつ協働的に取り組んでいる。
7	第4章 さまざまなビジネス	9	【知】ビジネスの種類と流通や流通に関わる様々なビジネスについて、経済社会における事例と関連付けて理解している。
	1. ビジネスの種類		【思】流通や流通に関わる様々なビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。
	2. 小売業		【主】流通や流通に関わる様々なビジネスについて自ら学び、これらの組織の一員として主体的かつ協働的に取り組んでいる。
8	3. 卸売業	6	【知】取引について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
	4. 金融業		【思】取引に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。
9	【前期期末考査】	1	【主】取引について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
	5. 情報通信業	1	【思】取引に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。
	第5章 企業活動の基礎	11	【主】企業活動について自ら学び、企業活動に関する事例などを踏まえ、企業活動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
10	1. ビジネスと企業	12	【知】企業活動について経済社会における事例と関連付けて理解している。
	2. マーケティングの重要性		【思】企業活動に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。
	3. 資金調達		【主】企業活動について自ら学び、企業活動に関する事例などを踏まえ、企業活動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
11	4. 財務諸表の役割	9	【知】取引について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
	5. 企業活動と税		【思】取引に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。
	6. 雇用		【主】取引について自ら学び、適切な契約の締結と履行に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
	【後期中間考査】	1	【知】ビジネス計算について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
12	第6章 ビジネスと売買取引	10	【主】ビジネス計算について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。
	1. 売買取引の手順		【知】さまざまな地域のビジネスについて理解している。
1	2. 代金決済	5	【思】身近な地域のビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいてビジネスの振興策を考え、実施及び評価・改善を行っている。
	第7章 ビジネス計算		【主】身近なビジネスについて自ら学び、ビジネスの振興による地域の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
	1. ビジネス計算の基礎		【知】取引について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
2	2. ビジネス計算の応用	6	【主】取引について自ら学び、適切な契約の締結と履行に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
	【後期期末考査】		【知】さまざまな地域のビジネスについて理解している。
3	第8章 身近な地域のビジネス	1	【思】身近な地域のビジネスに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいてビジネスの振興策を考え、実施及び評価・改善を行っている。
	1. さまざまな地域の魅力と課題	5	【主】身近なビジネスについて自ら学び、ビジネスの振興による地域の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。
	2. 地域ビジネスの動向		【主】身近なビジネスについて自ら学び、ビジネスの振興による地域の発展に主体的かつ協働的に取り組んでいる。

1 科目の概要

学年・年次	教 科	科 目	選 択	区 分	単位数
1 学年	商業	情報処理	-	必修・必修・選択	4
科目の 目 標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業において情報を適切に扱うために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ① 知識及び技能 企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ② 思考、判断、表現 企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。 ③ 主体的に学習に取り組む態度 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
教科書 (出版社)	・情報処理 (実教出版)	副教材 (出版社)			
留意点				開 講 予定人数	

2 評価の方法

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
知識・技能	・定期考査 ・小テスト
思考・判断・表現	・定期考査 ・ワークシート ・発表
主体的に学習に取り組む態度	・授業への取り組み姿勢（グループワーク、振り返り） ・ワークシート

(2) 評価方法

観 点 評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
定期考査・小テスト	○	○	
ワークシート		○	○
学習観察			○

3 履修上および学習上の注意

「情報処理」は、2年3年と様々な情報系選択科目を学ぶための基礎的な科目です。 - 企業における情報の管理と活用に関する具体的な事例について多面的・多角的に分析し、考察や 討論を行う学習活動を通して、情報を扱う者としての役割と責任について理解を深めていきます。 - 情報技術の進歩、表現の方法や伝え方などの工夫について考察や討論を行う学習活動及び企業において情報を扱う具体的な場面を想定した実習を通して、情報を適切に扱うことができるようにしていきます。

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
4	1章 企業活動と情報処理	10	【思】情報の意義と重要性について考え、説明することができたか。 【主】ビジネスにおける情報の役割を理解し、これを活用するための知識や技術を積極的に身につけようとする態度を持ったか。
	1節 情報処理の重要性		
	2節 情報モラルと法規		【思】身近な事例で情報モラルにもとづいた正しい行動のあり方を考え、説明することができたか。また、そのように行動しようとする態度を身につけたか。
5	3節 コミュニケーションと情報デザイン	12	【主】情報を取り扱う上で守るべき法律を理解し、その目的と概要を説明できたか。また、法令を遵守しようとする態度を身に付けたか。 【知】情報処理における情報デザインについて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。
	【前期中間考査】	1	【思】情報処理における情報デザインの意義と課題について、企業活動と関連付けて見いだせる。 【主】企業における情報処理について自ら学び、適切な情報処理に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
6	2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク	16	【知】【思】【主】コンピュータの基本的な機能と構成を理解し、ビジネスに活用できるハードウェアとソフトウェアを適切に構成して、その機能を活用することができる。
	1節 コンピュータシステムの概要		【知】【思】【主】検索・収集にインターネットを利用することに興味を持ち、効率的な検索ができるか。また、情報の価値や正確性について理解できたか。
	2節 情報通信ネットワークのしくみと構成		【知】【思】【主】電子メールのマナーなどについて興味を持ち、適切に利用できるか。また、危険性などについて理解できたか。
	3節 インターネットの活用		【知】【思】【主】情報技術におけるセキュリティ管理について興味を持ち、対策などを考察できるか。また、個人が身につけるべき方策や様々な問題点などについて理解できたか。
7	4節 情報セキュリティの確保	12	【知】【思】【主】情報の重要性について理解するとともに、情報を分析して適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組むことができたか。
8	3章 情報の集計と分析	7	【知】【思】【主】基本的な操作や関数等について理解し、表を作成する技術を身に付けるとともに、適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組むことができたか。
	1節 ビジネスと統計		
	2節 関数を利用した表の作成		
9	【前期期末考査】	1	【知】【思】【主】それぞれのグラフの特徴やグラフの構成要素を理解できたか。目的に応じた適切なグラフを作成できたか。
	3節 グラフの作成	16	【知】【思】【主】基準のキー項目でデータの整列ができるか。フィルタ機能などを利用して、データの分類や整列、必要なデータの検索、抽出ができるか。
	4節 情報の整列・検索・抽出	16	
10			
11	5節 問題の発見と解決の方法	12	【知】【思】【主】ビジネスに関する問題の発見と解決について、関連する技術を身に付けている。情報の提供に対する要求を分析し、評価・改善できる。自ら学び、適切な情報の提供と効果的な活用について主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
	【後期中間考査】	1	【思】【主】情報と文書の関係などについて興味を持ち、各種文書の役割や文書の構成要素などについて理解できたか。
	4章 ビジネス文書の作成		
	1節 ビジネス文書と表現		
12	2節 基本文書の作成	13	【知】【思】【主】ワープロを利用した基本文書の作成に興味を持ち、様々な文書を適切に選択できるか。ワープロの基本的な機能を利用して様々な文書が作成でき、ワープロの機能などを理解できたか。
	1. ワープロの操作と入力方法		
	2. ワープロを利用した文書の作成		
1	3. 社外文書	7	【知】【思】【主】計算機能やグラフ、イラストなどを利用した表現力に富んだ文書の作成に積極的に取り組んだか。
	4. 社内文書		
	3節 応用文書の作成		【知】【思】【主】プレゼンテーション活動の意義や役割を理解するとともに、情報収集や整理、内容構成など、プレゼンテーションの準備から評価改善に至るまでの一連の流れや基礎的な技法を身に付けているか。
2	5章 プレゼンテーション	8	
	1節 プレゼンテーションの技法	1	
	【後期期末考査】		【知】【思】【主】目的や形態に応じた適切な方法で、資料作成などの準備ができていないか。また、聴衆が理解しやすい資料や構成になっているか。実習や探究問題に主体的に取り組んでいるか。
3	2節 ビジネスにおけるプレゼンテーション	8	

1 科目の概要

学年・年次	教 科	科 目	選 択	区 分	単位数
1 学年	商業	簿記	-	必修・ 必修 ・選択	4
科目の 目 標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。 (3) 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
教科書 (出版社)	簿記 (TAC 出版)	副教材 (出版社)	全商簿記 3 級問題集 (TAC 出版)		
留意点	電卓を使用します。			開 講 予定人数	

2 評価の方法

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
知識・技能	簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けたか。
思考・判断・表現	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を身に付けたか。
主体的に学習に取り組む態度	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けたか。

(2) 評価方法

観 点 評価方法	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
定期考査・小テスト	○	○	
ワークシート		○	○
学習観察		○	○

3 履修上および学習上の注意

・「簿記」は2年3年で学ぶ「財務会計」などの簿記会計科目を学ぶための基礎的な内容を学びます。 ・企業会計に関する法規と基準の改正などに随時対応しながら、実務に即した例題を取り入れた学習活動及び取引の記録と財務諸表の作成の方法について考察や討論を行う学習活動を通して、適正な取引の記録と財務諸表の作成ができるようにしていきます。 ・全商 簿記実務検定 3 級 (11 月、1 月)、全経 簿記能力検定 3 級 (11 月、2 月) 程度の内容を学習します。

4 年間指導計画（単元の目標と評価の観点）

月	学習内容（単元名）	時数	評価の観点
4	第1章 簿記の基礎	10	【知】【思】【主】簿記の基礎的な知識を身に付けたか。簿記を学ぶことの意義と必要性を考えたか。企業の簿記の意義と役割を知り、簿記の学習に興味を示し、学習しようとする態度がみられたか。
	第2章 資産・負債・純資産と貸借対照表		【知】【思】【主】資産・負債・純資産（資本）の種類、貸借対照表の構造や役割、財産法の仕組みを理解したか。簿記の基礎概念として資産・負債・純資産が何かを思考し、それぞれの区分を適切に判断し、適切に表現できたか。
5	第3章 収益・費用と損益計算書	12	【知】【思】【主】収益・費用の種類、損益計算書の構造や役割、損益法の仕組みを理解したか。簿記の基礎概念として収益・費用が何かを思考し、それぞれの区分を適切に判断し、適切に表現できたか。
	第4章 取引と勘定		【知】【思】【主】簿記上の取引の意味を理解しているか。取引の分解と勘定記入について適切に判断し、正確におこなえているか。貸借平均の原理について関心を示し、把握しようとする態度が見られたか。
	第5章 仕訳と転記	1	【知】【思】【主】仕訳の手順を理解しているか。転記について適切に判断し、正確におこなえているか。企業の取引を仕訳することに関心を示し、仕訳と転記にも自ら進んで取り組もうとしたか。
	第6章 仕訳帳と総勘定元帳	16	【知】【思】【主】仕訳帳と総勘定元帳の意味と記帳法を理解しているか。仕訳帳・総勘定元帳への記帳を適切に判断し、正確におこなえているか。企業の取引を帳簿に記入することに関心を示したか。
	第7章 試算表の作成 【前期中間考査】	7	【知】【思】【主】試算表の意味と作成法を理解しているか。試算表の種類について思考し、適切に作成できたか。試算表がなぜ必要か考え、その役割について関心をもち、把握するような態度を示したか。
6	第8章 精算表	1	【知】【思】【主】精算表の意味と作成法を理解しているか。精算表の作成方法について思考し、適切に作成できたか。試算表がなぜ必要か考え、その役割について関心をもち、把握するような態度を示したか。
	第9章 決算	16	【知】【思】【主】決算の一連の手続きについて理解したか。貸借対照表と損益計算書の作成方法を理解したか。資産・負債・資本の勘定と収益・費用の勘定の違いについて理解できたか。
	第10章 会計帳簿		【知】主要簿と補助簿の作成について理解したか。帳簿の活用方法や必要性を理解したか。
	第11章 現金・預金などの取引		【知】【思】【主】現金・預金の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。現金・預金の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。
	第12章 商品売買の取引		【知】【思】【主】商品売買の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。3分法による記帳法や仕入帳・売上帳、商品有高帳に関する知識とその記帳法を理解したか。
7	第13章 掛け取引	12	【知】【思】【主】掛け取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。掛け取引に関心を高め、その記帳処理の学習を進めようとしているか。
	第14章 手形		【知】【思】【主】手形の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。手形の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を進めようとしているか。
	第15章 有価証券		【知】【思】【主】有価証券の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。有価証券の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。
	第16章 その他の債権・債務		【知】【思】【主】その他の債権・債務の取引等に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。その他の債権・債務の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。
8	第17章 固定資産の取引	7	【知】【思】【主】固定資産の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。固定資産の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。
	第18章 販売費及び一般管理費		【知】【思】【主】販売費及び一般管理費の取引等に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。販売費及び一般管理費の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。
9	【前期期末考査】	1	
	第19章 純資産の取引と事業主個人の税金	16	
	第20章 個人企業の税金		
	第21章 決算整理（その1）		
10	第22章 8桁精算表	16	
	第23章 帳簿決算		
	第24章 伝票とソフトウェア		
	第25章 決算整理（その2）		
11	第26章 精算表と財務諸表の作成 【後期中間考査】	12 1	
	第27章 クレジット売掛金と電子記録債権・電子記録債務		
12	第28章 特殊な手形の取引	13	
	第29章 本支店間の取引		
1	第30章 本支店会計合併財務諸表	7	
2	第31章 株式会社の会計処理 【後期期末考査】	8 1	
3	第32章 株式会社の税金	8	

			【知】【思】【主】個人企業の資本の取引等に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。個人企業の資本の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を進めようとしているか。 【知】【思】【主】個人企業の税金等に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。個人企業の税金の取引に関心を高め、その記帳処理の学習を積極的に進めようとしているか。 【知】【思】【主】・決算手続きの意味を理解し、決算手続きに関する基礎的・基本的な知識を身に付けたか。なぜ決算整理を行うのか、整理仕訳について思考し、財務諸表を活用して判断し、決算結果を財務諸表に明瞭に表現できる能力を身に付けたか。 【知】【思】【主】・8 桁精算表の意味を理解し、作成方法について基礎的・基本的な知識を身に付けたか。8 桁精算表を適切に作成する能力を身につけたか。 【知】【思】【主】・これまで学んでいる諸帳簿の記帳法を理解しているか。帳簿の種類や形式について関心を高めたか。 【知】【思】【主】取引の記帳に会計ソフトウェアを活用することによる利点を理解したか。会計ソフトウェアの活用方法について思考し、記帳の合理化を達成する方法を考えることができるか。 【知】【思】【主】・費用・収益の繰り延べと見越し、切手・はがきなどの未使用分の処理、有価証券の評価、間接法による減価償却の記帳などに関する基礎的・基本的な技術を身につけたか。費用・収益の繰り延べ・見越しなどを含んだ財務諸表について自らの思考を深め、適切に作成できているか。費用・収益の繰り延べ・見越しなどを決算整理として行う理由に関心をもち、自ら進んで調べる態度を示したか。 【知】【思】【主】8 桁精算表で作成されている損益計算書と貸借対照表の意味を理解したうえで、財務諸表の作成方法について基礎的・基本的な知識を身に付けたか。財務諸表の作成方法の違いについて思考し、適切に作成する能力を身につけたか。財務諸表に関心をもち、その有用性について自ら考える態度を示したか。 【知】【思】【主】クレジット売掛金と電子記録債権・電子記録債務の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解したか。クレジット売掛金と電子記録債権・電子記録債務に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。最近の実務に広がる取引に関心を高め、日常生活で行っている商取引について、どのような仕訳で表すか自ら進んで調べる態度を示したか。 【知】【思】【主】手形の裏書譲渡・割引・書き換え、不渡手形等の取引に関する基本的な内容と記帳法を理解したか。営業外受取手形と営業外支払手形の取引に関する基本的な内容と記帳法を理解したか。特殊な手形の取引について自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。なぜ商業手形と金融手形は勘定科目を区別しなければならないのかに関心をもち、自ら調べる態度を示したか。 【知】【思】【主】本支店間の取引、支店相互間の取引などに関する基本的な内容理解して、基礎的な技術を身に付けたか。本支店間の取引、支店相互間の取引について、その記録・計算・整理に関する問題の解決を目指して、自らの考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身に付けたか。 【知】【思】【主】本支店の合併貸借対照表と合併損益計算書について基本的な内容理解し、作成法を身に付けたか。本支店の貸借対照表と損益計算書の合併の手続きとその作成法に関心をもち、進んで取り組み、作成した貸借対照表と損益計算書からビジネスの諸活動を理解しようとしているか。 【知】【思】【主】株式会社の設立と株式の発行について、基本的な内容を理解したか。株式会社の財務諸表の作成について、自らの思考を深め、適切に作成しているか。個人企業と株式会社の会計処理や財務諸表の違いについて関心をもち、自ら進んで調べる態度を示しているか。 【知】【思】株式会社の純利益の計上・剰余金の配当と処分・税金の会計処理について、基本的な内容と記帳方法を理解したか。
--	--	--	---